

## 会議速報

### 開催概要

- 名 称：第1回新潟市広報検討会議
- 日 時：平成29年5月29日（月）午後1時から午後3時まで
- 場 所：新潟市役所本館4階 401会議室
- 出席委員：伊藤委員，岩佐委員，椎谷委員，長尾委員，藤田委員（5名：五十音順）
- 事 務 局：高井地域・魅力創造部長  
                  広報課（加藤課長，佐藤課長補佐，米山係長，岡村係長，伊藤主査，小林主査）  
                  広報戦略課（鈴木課長）
- 傍聴者      ：2名
- 報道関係者：0名

### 会議内容

#### <委員長の選出>

委員長に長尾委員を選出。

#### <議題（1）市の広報，（2）現状と課題について>

[資料1-1](#) [資料1-2](#) [資料2-1](#) [資料2-2](#) [参考資料](#)

資料を基に，市民アンケートや市政世論調査の結果を交えながら，市の広報活動と現状の課題について，事務局より説明。

#### <議題（3）今後の検討会議の進め方について> [資料3](#)

今後の検討会議開催のスケジュール案と検討内容について，事務局より説明。

#### <議題（4）その他>

第2回広報検討会議における3つの検討テーマについて，事務局より説明。

- ①「市報にいがた」で、情報を伝える対象者・ターゲットについて
- ②発信内容に応じた「市報にいがた」の紙面づくり
- ③効率的かつ効果的な紙面づくりと、配布方法について

### <委員の主な意見>

本日の検討会議や市の広報についての意見交換。

- ・他政令市における、市版と区版がどのようになっているのか確認したい。
- ・若者が「市報」を見ないのは必要がないのか、それとも入手する術を知らないのかを確認してはどうか。
- ・子育て世代、高齢者世代は広報紙で、若者にはSNSなどを活用して情報を届けるなど、行政情報を求めている年代と、そうでない年代に対し、情報発信の有り方を再検討しても良いのではないか。
- ・若者に対して紙面により市報情報を発行する場合は、視覚・ビジュアルを用いるべき。
- ・「回覧板」による配布方法は、地域コミュニティの繋がりを保つという2次的効果もある。
- ・情報を伝えるターゲットを絞ることで、市報の紙面の出し方や情報提供手段も変わる。
- ・市報に、子育て世代向けに「イベントカレンダー」があると良い。
- ・市からの情報にメリットを感じるかどうか、世代によって異なるのでは。
- ・自ら情報を入手できない人に対する情報の出し方も難しいが、重要ではないか。